

平成 15 年度 社会実験実施地域の検討経緯について

平成 15 年度社会実験の実施地域の検討経緯は下表のとおりであり、「社会実験の推進に関する懇談会（座長：東京商船大学 高橋洋二教授）」および「歩行者自転車優先施策アドバイザー会議（座長：東京商船大学 高橋洋二教授）」を開催し、実験内容等について御意見をいただきました。

平成 15 年度 社会実験実施地域の検討経緯

従来の社会実験		歩行者自転車優先施策の社会実験	
2月28日	公募要領公表	昨年12月	公募要領公表、公募開始
4月1日	公募開始		
4月25日	公募締め切り	5月16日	公募締め切り
6月4日	社会実験の推進に関する懇談会開催	6月25日	歩行者自転車優先施策アドバイザー会議
7月14日	プレスリリース	7月14日	プレスリリース

平成 15 年度は、主に 3 つのテーマ（「くらしのみちゾーン」、「トランジットモール」、「NPO 等との協働による道活用」）に該当する社会実験について、次の考え方により実施地域及びその内容を検討しました。

1. 新規性、先進性

取り組みに新規性・先進性が認められるか。

2. 施策の有効性、展開性

実験する施策が当該地域において有効であるか、また他の地域へ展開性があるか。

3. 関係機関との合意形成、調整状況

実験実施へ向けた住民、企業との合意形成や、実験に関わる関係機関・諸団体の協力・準備体制が整っているか。

4. 実験計画の熟度

実験内容・実験実施期間・実験規模は実験結果の評価に関して必要十分であるか。また実験を評価するための各種調査計画などが十分に練られているか。